

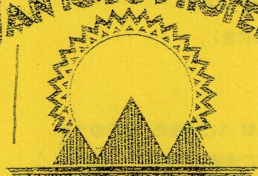
山陽堂だより 108

2018年7月文月

7月休業日

7/4(土)・日祝

SANYODO STORE



山陽堂書店
03-3401-1309

今月の一句

はつたはつたに
人情あくる
団扇かき
水落す
(安西水丸さん
俳句)

6月の書籍ベスト5

1. 珈琲屋 下坊勝次 森光泉男 著
7月4日刊
2. 子午のハリス トンテン編
祖殿大輔・全前朝社
3. ハリスミの森のトンテン編
祖殿大輔・全前朝社
4. 木カに始り 森光泉男 著
7月4日刊
5. 大土方珈琲の時間
大坊勝次・キンポ・著
自由空間

6月の雑誌ベスト5

1. SPUR 7月号 Rain of Shine
白くも晴くも7月の空は青い
2. エルンボ 7月号
FORTUNE SPECIAL 下半期の運命
3. 家庭画報 7月号
「趣上と下」の優雅に
4. GINZA 7月号
水にふくまれる、青い夏
5. 婦人画報 7月号
新顔の京都

JT生命誌
石原館 雑誌
中村程子 8/9(金)
「子午のハリス」のちから
子午の本から学ぼう
刊行記念イベント
8/10(金) 19時~20時半
チャリ山陽堂2F
一般2000円・学生1000円
店頭・Tel 03-3401-1309
Fax 03-3401-1358
A-100 info@sanyodo.co.jp

◆安西水丸個展『七夕の夜⑧』

8年目の今年は、安西水丸さんのエンピツ画を主に展示いたします。

期 間: 2018年7月5日(木)~7月21日(土) 日・祝・7/14(土)休

月一金: 11時~19時 *7/6・7/13(金) 午後5時まで

土: 11時~17時 *7/14(土)休

◆LIVE版・山陽堂だより④

【開催日】7月13日(金) 19時半~20時半(開場 19時)

参加費: 1,000円(ワンドリンク・自家製おつまみ付き)

定員: 20名(事前申込制)

【申込み方法】

件名に「山陽堂だより」、本文に①氏名 ②予約人数 ③ご連絡先を明記のうえ、

sanyodo1891@gmail.com(担当 萬納)までご連絡ください。

※3営業日以内に折返しの連絡がない場合は、電話(03-3401-1358)でお問い合わせください。

電話・店頭でもお申し込み頂けます。

4回目となる今回は「水丸さんと山陽堂書店」というテーマで話をします。

安西水丸さんと山陽堂書店とのご縁が生まれたのは2010年頃。

以前からご来店いただいていたが、お話しをすることはあまりありませんでした。

その後、当店がギャラリーを併設すると決めた際に縁あってアドバイスをいただき、

改装後は個展の開催、将来のイラストレーターのために山陽堂イラストレーターズ・スタジオ(SIS)

を開講と、ご尽力いただきました。

当日は私たちの知る生前の安西水丸さんについて、写真やエピソードを交えてご紹介致します。

(雨男だった水丸さん、当日は雨が降るかもしれませんね。)

また、LIVE版の後半では毎回「あの時の山陽堂書店」と題して、当時の写真などと共にある時代の当店の歴史を紹介しま

す、今回は2010-2011年。

出版不況のなか、「本屋として生きていくため」に話し合い、改装することを決めました。

まちの小さな本屋にとって、それは大きな決断でした。当時のエピソードなども紹介します。

◆第2回《笛奏者 雲龍 演奏会のお知らせ》期 間: 7月6日(金) 19時開演(開場 18時半)

青山で皆様との出会いを大切に、一回一回を大事に行ないたいと思います。

四回までは、雲龍の原点から今日までをいろいろな笛とエピソードを交えて行います。どうぞお誘い合わせの上お越し頂けた

ら幸いです。(満員御礼となりました。)

第2回目は、○能管であって能管ではない。○爆竹が笛に。○遺跡から出土した笛。

笛師 田中敏長さんとの関わりで、新たな笛が蘇り、雲龍独自の感覚的な響きが広がる。平安時代に吹かれていた相模に伝わる

神事の横笛に、三百三十年前の爆竹が笛へと生まれ変わり、福島県江平遺跡から天平十五年三月と記された木笛と同じ地層か

ら出土し、その推定復元に至るまでの笛。三管の異なる笛が、吉野山・金峯山寺から、笛吹神社、伊勢・猿田彦神社のご神

事、第3回世界水フォーラム、善光寺・光三尊阿彌陀如来に、熊野古道・世界遺産式典に、インド釈尊の聖地を巡り、熊野三

山から比叡山に高野山へと神社仏閣へと結ばれる。転生之笛 香具之笛 江平之笛 他 雲龍拝

◆口丸弘子 絵織物展

期 間: 2018年7月23日(月)~28日(土) 月~金 11時~19時 土 11時~17時 日休

《プロフィール 口丸弘子》

都立立川高校卒業 武蔵野美術大学デザイン科卒業

30代 織に出会う 以後数十年作品を発表 神戸市在住

「10年やからほじかる物語」
本は私の味方。なまにその通り。
どんなに長く読んでも、どんなに待っても、何かい合っても
止定まらぬものは限るだけ、絶対する定まらぬものを
読むよ、なまに味方か
いふん、もの。

「果てに食うていい地よく面付たその日」
気分がよいにせよ、人耳もはばかり可なり
7月13日(金) 19時半~20時半(開場 19時)
参加費: 1,000円(ワンドリンク・自家製おつまみ付き)
定員: 20名(事前申込制)
件名に「山陽堂だより」、本文に①氏名 ②予約人数 ③ご連絡先を明記のうえ、
sanyodo1891@gmail.com(担当 萬納)までご連絡ください。
※3営業日以内に折返しの連絡がない場合は、電話(03-3401-1358)でお問い合わせください。
電話・店頭でもお申し込み頂けます。
4回目となる今回は「水丸さんと山陽堂書店」というテーマで話をします。
安西水丸さんと山陽堂書店とのご縁が生まれたのは2010年頃。
以前からご来店いただいていたが、お話しをすることはあまりありませんでした。
その後、当店がギャラリーを併設すると決めた際に縁あってアドバイスをいただき、
改装後は個展の開催、将来のイラストレーターのために山陽堂イラストレーターズ・スタジオ(SIS)
を開講と、ご尽力いただきました。
当日は私たちの知る生前の安西水丸さんについて、写真やエピソードを交えてご紹介致します。
(雨男だった水丸さん、当日は雨が降るかもしれませんね。)
また、LIVE版の後半では毎回「あの時の山陽堂書店」と題して、当時の写真などと共にある時代の当店の歴史を紹介しま
す、今回は2010-2011年。
出版不況のなか、「本屋として生きていくため」に話し合い、改装することを決めました。
まちの小さな本屋にとって、それは大きな決断でした。当時のエピソードなども紹介します。
◆第2回《笛奏者 雲龍 演奏会のお知らせ》期 間: 7月6日(金) 19時開演(開場 18時半)
青山で皆様との出会いを大切に、一回一回を大事に行ないたいと思います。
四回までは、雲龍の原点から今日までをいろいろな笛とエピソードを交えて行います。どうぞお誘い合わせの上お越し頂けた
ら幸いです。(満員御礼となりました。)
第2回目は、○能管であって能管ではない。○爆竹が笛に。○遺跡から出土した笛。
笛師 田中敏長さんとの関わりで、新たな笛が蘇り、雲龍独自の感覚的な響きが広がる。平安時代に吹かれていた相模に伝わる
神事の横笛に、三百三十年前の爆竹が笛へと生まれ変わり、福島県江平遺跡から天平十五年三月と記された木笛と同じ地層か
ら出土し、その推定復元に至るまでの笛。三管の異なる笛が、吉野山・金峯山寺から、笛吹神社、伊勢・猿田彦神社のご神
事、第3回世界水フォーラム、善光寺・光三尊阿彌陀如来に、熊野古道・世界遺産式典に、インド釈尊の聖地を巡り、熊野三
山から比叡山に高野山へと神社仏閣へと結ばれる。転生之笛 香具之笛 江平之笛 他 雲龍拝
◆口丸弘子 絵織物展
期 間: 2018年7月23日(月)~28日(土) 月~金 11時~19時 土 11時~17時 日休
《プロフィール 口丸弘子》
都立立川高校卒業 武蔵野美術大学デザイン科卒業
30代 織に出会う 以後数十年作品を発表 神戸市在住